

脇本雄太が空中バンクを激走

いわき平競輪場開設75周年記念「いわき金杯争奪戦」は、1月22日〜25日の日程で開催される。今シリーズは脇本雄太、南修二、嘉永泰斗のSS班3名がV争いをリードしそうだが、迎え撃つ地元勢は新田祐大、山崎芳仁、成田和也とビッグネームがズラリ。新山響平の存在も心強く、Vのゆくえは混とんとしている。「空中バンク」で覇を握るのは誰なのか。目が離せない4日間だ。

輪界屈指の超速を誇る脇本雄太が優勝候補の筆頭だ。約2カ月の落車負傷明けだったグランプリは、寺崎浩平の番手を真杉匠と取り合う展開となり、状態を確認できるようなレースにはならなかったが、1月和歌山記念では、二次予選から驚異的な快速まくりを放って3連勝。二次予選は上

がり11秒フラを叩き出している、スピードはかなり戻っているとみていいだろう。豪快な仕掛けで別線を沈黙させる。新SS班の南修二が脇本とタッグを組む。グランプリは4着もレース内容は悪くなかったし、1月和歌山記念も準決は車体故障で敗退したが、二次予選は中金章成を目標からきっちり勝ち星をゲットしている。近畿ワンツースは有力だ。

昨年寛仁親王牌で初タイトルを手にした嘉永泰斗は、自力攻



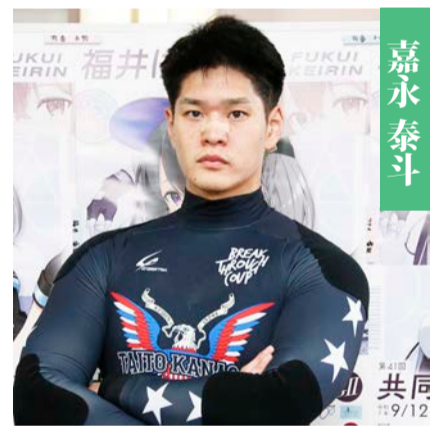
脇本雄太

撃に一段と磨きがかかった印象だ。競輪祭は準決4着で惜しくも決勝を外したものの、最終日は太田海也、新山響平、深谷知広らの健脚をまくりで撃破しているし、グランプリでは単騎ながら最終バック先制のまくりを放ち、あわやの見せ場を作った。更に1月立川記念①③④着の走りも力強く、新SS班として順調な滑り出しを披露している。好機に仕掛けて主導権を握れば勝ち負けに持ち込める。小川勇介が続き九州ワンツースを目指す。

地元勢はグラランドスラマーマの新田祐大をはじめとして、山崎芳仁、成田和也とタイトルホルダーがズラリ。今年はSS班の座を明け渡したものの、スケールの大きな先行は相変わらずの新山の存在も大きく、北日本勢の総合力はかなりのもの。現に一昨年73周年大会の決勝は、打鐘で叩き主導権を握った新山に乗った新田が、山田庸平の仕掛けに合わせての番手まくりで地元Vを飾っている。山崎もこの大会は4Vの実績があり、北日本勢から優勝者が出る可能性は十分。



南修二



嘉永泰斗

らに期待がかかる。今期初戦の1月久留米④⑥着。前2日間あまり振るわなかった小林だが、最終日は豪快にまくって2着以下に5車身の差をつける圧勝劇を演じた。優参は成らずも白星締めなら、ここはいいイメージを維持しての参戦か。神山は差し脚快調。昨年は11月四日市記念で4連勝を達成すると、競輪祭では最終日に1勝をあげている。今期初戦の1月京王閣②③④着。決勝は外したものの、堅実な走りで成績をまとめた。

西田優大、桑原大志の中国勢も軽視はできない。昨年7月の小松島で、S級初優勝を記念開催で飾る偉業を達成した後は、決勝ではあまり結果が出ていない西田ながら、機動力を活かした強気の競走を演じている。12月広島記念の準決は、惜しくも4着で決勝は外したものの、ジャンから駆け出した先行は力強かったし、ヤンググランプリでも前々と積極的に組み立てていた。うまく流れに乗って自力を出せれば一発怖い。

いわき金杯争奪戦 出場予定選手

※2026年1月13日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点						
SS	南修二	大阪	88期	115.29	S1	新山響平	青森	107期	113.88	S2	大屋健司	広島	87期	101.18	S2	藤岡隆治	徳島	98期	96.22	S2	三浦貴大	岐阜	115期	98.48	
SS	脇本雄太	福井	94期	115.36	S1	隅田洋介	岡山	107期	98.06	S2	山田敦也	北海道	88期	99.82	S2	坂本周輝	青森	100期	101.89	S2	立部楓真	佐賀	115期	103.50	
SS	嘉永泰斗	熊本	113期	117.33	S1	末木浩二	山梨	109期	101.20	S2	荻原尚人	宮城	89期	97.64	S2	伊東翔貴	福島	100期	96.90	S2	宮崎大空	熊本	115期	98.83	
S1	中村浩士	千葉	79期	98.04	S1	島川将貴	徳島	109期	102.24	S2	丸山貴秀	秋田	89期	91.47	S2	佐藤壮	千葉	100期	105.28	S2	小笠原光	岩手	117期	91.07	
S1	桑原大志	山口	80期	109.61	S1	田尾駿介	高知	111期	106.59	S2	松永将	茨城	89期	98.56	S2	太刀川一成	千葉	100期	95.03	S2	長谷部龍一	岐阜	117期	102.39	
S1	大坪功一	福岡	81期	100.00	S1	山崎賢人	長崎	111期	104.89	S2	田中誠	福岡	89期	104.59	S2	土屋壮登	埼玉	101期	103.32	S2	木村佑来	宮城	119期	97.87	
S1	成田和也	福島	88期	111.76	S1	小林泰正	群馬	113期	110.82	S2	鈴木謙太郎	茨城	90期	98.13	S2	月森亮輔	岡山	101期	99.67	S2	窪木一茂	福島	119期	105.50	
S1	山崎芳仁	福島	88期	109.57	S1	山田諒	岐阜	113期	105.38	S2	伊藤成紀	大阪	90期	97.71	S2	坂本周作	青森	105期	90.38	S2	橋本壮史	茨城	119期	107.00	
S1	新田祐大	福島	90期	107.53	S1	上田亮弥	熊本	113期	98.96	S2	中川貴徳	栃木	91期	100.92	S2	畑段嵐士	京都	105期	100.70	S2	堀江省吾	長野	119期	102.65	
S1	小川勇介	福岡	90期	110.71	S1	谷和也	大阪	115期	104.54	S2	天田裕輝	群馬	91期	98.58	S2	野口正則	奈良	105期	96.17	S2	足田力也	愛知	119期	90.20	
S1	小岩大介	大分	90期	106.69	S1	櫻井祐太郎	宮城	117期	106.94	S2	柴崎俊光	三重	91期	102.30	S2	大矢崇弘	東京	107期	104.71	S2	渡口勝成	山口	119期	101.14	
S1	神山拓弥	栃木	91期	111.28	S1	道場晃規	静岡	117期	107.61	S2	桑原亮	福岡	91期	95.61	S2	堀内俊介	神奈川	107期	101.26	S2	加藤将武	埼玉	121期	93.05	
S1	須永優太	福島	94期	106.06	S1	吉田有希	茨城	119期	107.70	S2	小林弘和	佐賀	91期	102.33	S2	原口昌平	福岡	107期	100.32	S2	原田翔真	和歌山	121期	91.90	
S1	根田空史	千葉	94期	107.57	S1	西田優大	広島	123期	109.00	S2	古川尚耶	栃木	92期	100.83	S2	中村弘之輔	北海道	109期	96.74	S2	小川将二郎	徳島	121期	93.38	
S1	柿澤大貴	長野	97期	102.74	S2	佐藤真一	東京	79期	98.43	S2	片折亮太	埼玉	92期	96.27	S2	瀬戸栄作	長崎	109期	98.58	S2	森本桂太郎	愛媛	121期	92.63	
S1	中井太祐	奈良	97期	107.03	S2	佐々木則幸	高知	79期	99.15	S2	蒔田英彦	千葉	93期	98.31	S2	瓜生崇智	熊本	109期	96.50	S2	甲斐俊祐	大分	121期	97.86	
S1	横山尚則	茨城	100期	0.00	S2	館泰守	愛知	80期	95.45	S2	谷田泰平	岐阜	93期	90.20	S2	出澤拓也	神奈川	111期	0.00	S2	望月湧世	静岡	123期	92.57	
S1	高久保雄介	京都	100期	104.07	S2	大矢将大	埼玉	81期	92.00	S2	栗田貴徳	愛媛	93期	85.37	S2	久保田泰弘	山口	111期	102.71	S2	山崎歩夢	福島	125期	103.79	
S1	久米康平	徳島	100期	103.93	S2	西岡正一	和歌山	84期	92.75	S2	佐藤龍二	神奈川	94期	94.29	S2	今村麟太郎	高知	111期	97.70	S2	川上隆義	栃木	125期	95.38	
S1	嶋津拓弥	神奈川	103期	108.93	S2	渡辺十夢	福井	85期	103.95	S2	近藤夏樹	千葉	97期	94.40	S2	植原琢也	埼玉	113期	91.41	S2	谷内健太	京都	125期	106.59	
S1	長尾拳太	岐阜	103期	101.32	S2	岡村潤	静岡	86期	104.50	S2	松岡篤哉	岐阜	97期	102.34	S2	内山雅貴	静岡	113期	95.73						
S1	谷口遼平	三重	103期	107.38	S2	高津晃治	岡山	87期	97.77	S2	小玉拓真	岡山	98期	98.75	S2	磯島成介	青森	115期	97.39						

橋本 壮史 (茨城/119期)

12月広島記念で2⑨①②着と3連対を果たすと、1月立川記念は予選を2③着で準決にコマを進めた。自力攻撃の破壊力には並々ならぬものがあり、上位戦でも目が離せない。



川上 隆義 (栃木/125期)

S級特進は果たせなかったものの、昨年の後期は8連勝が2回。A級戦とはいえ、直近4カ月の勝率 83・3%は特筆もの。初めてのG3開催でどこまでやれるか注目される。



谷内 健太 (京都/125期)

直近4カ月の連がらみの決まり手は、8割超が先行してのもの。スケールの大きな競走で売り出し中。一次予選は主力として信頼できるし、二次予選で一発があっても不思議ない。



地元地区推奨選手

俺の出番だ!!

山崎 歩夢

(福島/125期)

G1で9Vのレジェンド・山崎芳仁を父に持つサラブレッドで、豊かなスピードは大器を予感させる。地元記念は初参戦ならいつも以上に気合が入るはず。大暴れが期待される。



窪木 一茂

(福島/119期)

ナショナルチームの一員で、中距離種目の第一人者。昨年の世界選手権はオムニウムで銀、一昨年はスクラッチで金メダルを獲得している。本業でも地元ファンに猛アピールするか。



選手名	所属	期	90期	123期	91期	90期	88期	107期	113期	88期	94期	直近4ヶ月 前期得点	直近4ヶ月 今期得点	直近12場所成績
小川 勇介	九州 福岡	41	110.71	109.00	---	110.52	---	---	---	---	---	116.45	116.45	近4ヶ月前期得点
西田 優大	中国 広島	28	109.00	109.11	---	109.55	---	---	---	---	---	115.29	115.29	近4ヶ月前期得点
神山 拓弥	関東 栃木	38	111.28	111.28	107.67	107.17	---	---	---	---	---	115.36	115.36	近4ヶ月今期得点
新田 祐大	北関東 福島	39	107.53	110.71	107.17	---	---	---	---	---	---	116.45	116.45	近4ヶ月今期得点
成田 和也	北関東 福島	46	111.76	112.37	---	---	---	---	---	---	---	115.00	115.00	近4ヶ月今期得点
新山 響平	北関東 青森	32	113.88	114.09	---	---	---	---	---	---	---	116.45	116.45	近4ヶ月今期得点
嘉永 泰斗	九州 熊本	27	117.33	116.24	116.50	---	---	---	---	---	---	115.00	115.00	近4ヶ月今期得点
南 修二	近畿 大阪	44	115.29	117.50	110.50	---	---	---	---	---	---	115.00	115.00	近4ヶ月今期得点
脇本 雄太	近畿 福井	36	115.36	116.45	115.00	---	---	---	---	---	---	116.45	116.45	近4ヶ月今期得点